

令和5年司法試験合格体験記

令和5年度在学中受験(未修コース) 西田 泰周

令和5年司法試験に合格しました、18期末修の西田泰周と申します。

司法試験合格という結果を残すことができたのは、これまで応援してくれた家族や友人、切磋琢磨してくれた友人、ご指導いただいた先生方のおかげにほかなりません。この場をお借りして深く感謝申し上げます。

以下、今後、司法試験を受験される方々に向けて、私が合格に当たり意識していたことについて僭越ながら述べさせていただきます。

一点目は、「思考を言語化する」ことです。法科大学院入学から司法試験合格までは最短でも1年3か月かかります。そして、1年前に理解していたことを試験直前に完璧に思い出すことは困難です。そこで私は、試験直前期に見返すことができるよう、講義で習ったことや起案する中で思いついたこと等を言語化してまとめていました。例えば、問題提起やあてはめのポイント、関連して問題となりうる事項などを論証パターンと一緒にまとめていました。すなわち、できたことを感覚で終わらせず、見返したときにすぐに思い出すことができる環境にしていました。これにより、直前期に慌てることなく暗記に集中することができました。

二点目は、「継続力を持って学習する」ことです。上記のように合格までは最短でも1年3か月かかる上、試験範囲は広範にわたるため、短期間の学習では結果がでません。そのため、試験本番を見据えて継続的に学習する必要があります。例えば、私は短答が苦手だったため、試験の1年前から1日10問過去問を解くようにしていました。また、論証を暗記するにしても短期間で覚えることは困難であるため、1日少なくとも30分は論証集を読むようにしていました。このような再現性のある方法を継続することで合格できる力をつけることができました。

司法試験に合格したことで、法曹としてのスタートラインに立つことができました。これからたくさん壁にぶつかると思いますが、常に謙虚な姿勢をもって、弱い立場にある人に寄り添うことのできる法曹になります。

岡山大学法科大学院には経験のある先生方、先輩方が築いてくださった司法試験合格への道標があります。今後司法試験を受験される方は是非そのルールに乗って、良き法曹になってください。皆様の合格を心より願っております。